



四季詞寄
いそは分
俳諧曲尺
全



あゝ世あゝるゝもゝらゝる事
わゝゝゝゝ風家のあゝを
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ならあゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

入

山

うねり波もつほ

うねり波もつほ

あれよのろろあらん

あれよのろろあらん かな代た



初

四季詞寄
いろは各 俳諧曲尺 二月にまゝのもの△中あり

い 正 倭勢多の飾 いねつむ いねあたる 井部くま

芋取いふ いろこねふ 院の巻礼 正月 居こもり 九月 西実

いはく鳩象 下亥 磯菜つむ 凍ぬ 凍る象 △糸極

△いせ松 二 團巾 いせのちり 糸極 いそりの世 いそり

飯たこ 三 石山象 三日月 一 糸守象 五月 一切経 十五日

菰荷の伊出 中ノ午 いろろぬき 大極 家はくろ

いせ 菰つじ 四 菰荷象 卯 忌竹さ守 いちご

山吹 卯辰 岩花 猪猪 心子 蒲の花 一八

芋植子 いもせき 時香 △飯飯 △二髪 **五** いく玉やぶ

さ絶 又日 大坂 今更糸 十五日 京 祝地 **六** 忌日 廿九日 飯 一日又 青

教信糸 十五日 いせ糸 十六日 いづも 廿一日 井戸久

蒲刈 白麻刈 沈見草 **七** 大魁野 廿九日 糸織

娘 七夕 芋汁 廿九日 池の坊 廿九日 糸萩 けんぐん豆

稻系 稻乃花 いましま 猪の尻 いまご 猪むし

糸 糸 生糸 十五日 いも 十五日 △居待 十八夜

八 生 十五日 芋名月 いさよふ いてまの突

岩草 いちち 糸香 稻屋香 △稻刈 △稻こく

△稻つり △稻垣 △稻丁 △稻むし △いさよふ

九 生玉糸 九日 大坂 岩倉糸 十五日 山 一の糸 十五日 糸 伊勢淨

辻糸 いちね 色かへぬ松 糸きりく 糸巻 糸巻茶

もみち いるて 糸きり 糸まきけ 糸 糸漬 **十** 射

場焙 五日 いのこ △田 糸 裏 糸 △いさ **十一** 凍

世 いま 糸 いぬ糸 糸

正 六餅 十六日 糸 **三** 糸 糸 **六** 六月舎 四日 糸 **七** 六乃糸

京 糸 糸 糸 **九** 六糸 糸 **十** 糸 糸 △焼

万

三 初日 初年 初室 花 云 初産 云の麦

初曆 羽子板 云縁つく 云魚弓 云魚矢 云釣

齒むとめ 初とり 海贏の身 鰻赤 云の芝居

初高 云永 初子の日 廿日正月 廿日たんで

春さむ 云れ雪 龍菓 白柿 云若茶むめ

初みどり 初茶 畑歩 畑うへと 初寅糸 云ま

初卯糸 任者 △春雨 △防風 △波菰 △初輪

△初公樂 二 初午 初雷 初いなむら 梅松竹

廿音 花と待 初とち 初梅 萩の若茶 雲の根

堀 堀屋く 孕麻 孕雀 云こち 梅の巢

三 雛花糸 巴字盡 母子雛 蛤ひたる

八十八夜 花盛 花梅 △花 △寝美のむね

今泣 馬見え 母子茶 茶梅 又夏 茶柳 同上 春

色て 雲泳き 雲にかる 雲そる 雲つる 雲の

名紗 春書て 春の隈 雲の王かき

雲の漆 雲と惜む 雲より後 四 花洗え 八日 雲山

花供 廿日 花袖 雲橋 箱根卯木 初見花日

白丁 廿日 牡丹 雲の 雲 花の君 廿日 初雛

飛トビ 梅天 △蒼アヲ △椿ツバキ △蠅 △蠅虎 △クワ
 △蓮ハスのそめ △早鮓 △ハナハシ △ハナハシ △水馬ミヅウマ 音 白ハク △ハク 日上 才夏
 生 花かつマコト 花あや免 とかご百合 初ハツせそ 羽
 ぬけウ 羽ぬけ鴨 **六** 蓮 とすの巻糸 蓮の真時
 多タ糸シ 十六日 檣カサネ立糸タテイト 廿五日 とくくハ茶チ 後 **七** 初秋 初て
 とくく 初嵐 蓮の糸奏 鼻ハナ糸 蓮の飯 花火
 檣 檣 萩 とすの真とぶ 初ハツ鮭 とくく とくく
 虫 △ハ糸イト鷓シ 於 △はハトトかカ △ハ濱ハ萩 △ハ芭蕉 △ハくクのノ香
 △ハ旭ハ △ハ沙魚 **八** 八朔 白露 昔 八ハ月ツキ糸 十五日

箱ハコ △糸 日上 とくく △ハ初ハツ波 初ハツりリみミち 濱ハマの中
 木 花ハナ糸 花ハナ群 賦ウツ荷 初ハツ草 初ハツ一 後アト現
 似ニ菖ショウ子 **九** 檣カサネりリみミち 檣カサネりリみミち 檣カサネ 海ウミ流リはハこ
 花ハナのノ牙ウ とくく 女メ糸イト 北日 **十** 初霜 初霜とくく △ハ萩
 初ハツ雨 初雪 初氷 初氷とくく △ハ萩 △ハ濱ハ子コ香 △ハ羽ウ志シ芳 △ハ初ハツ蘇 **十一** 初ハツたタくクき とくく △ハ葉エ糸
 初ハツ涼リョウ雪 とくく △ハ初ハツ雪 **十二** 羽子板ウツコ賣 子コ咲サイ梅 子コ咲
 椿 ばくハクのノ机 ばくハクのノ机 春ハルををさサ 暮クをを隣
正 庭ニワ籠 初ハツ者 二ニ更ヘのノ 客キヤク 二日 女メ叙シヨ位 八日 白ハク

茶 **二**二月半の初十日 二月十五日の別十五日 二の筈二階

榎 みへとまの花 いら めんく 榎 いそん乃子

五 **三**庭榎 みへ梅 加初てま 仁和寺詣十日

四 **四**月光寮十日 △煮酒 △煮酒 △煮酒 △煮酒 △煮酒 △煮酒 △煮酒 △煮酒 △煮酒 △煮酒

入梅 **六**煮梅 いんみくの榎 **七**庭のま翠う七文庭

見茶 みんま 二百十日 △初綿 **十**めんま引 **十一**庭

火 新学会 中卯 **正** **一** 星伴 星伴 蓬菜 穂長 穂儀

多針 伴の春 七ま 将正月十日 城入丈こん

二 文妙寺末 和牛 佛の別十五日 **三** 法橋寺ころろ

木瓜の花 やうう花 郭公の巢 **四** 仏の産湯

牡丹 やうやう 郭公の花 郭公 へるる

五 蒲人音 火斬 **六** 于飯 于瓜 **七** 星の契

皇合 星叶子向 星寮 星のか 本教寺

蓑花七日 日焼蓑日 盆市 盆会 盆供 穂

至作廿七日 木瓜の實 鳳仙花 △南瓜 又夏 鬼灯

△不と鴨 **八** 菩薩寮廿二日 星月歌 牡丹分 根

穂抄 ねとろ ねあり **九** 菩提子 星見茶まき

十 法務寺大素志 北四日 △櫛 十一 報せん

講 廿八日 星うらふ **十二** 星佛賣

へ **二** 蛇穴と号 **四** 蛇いちこ **五** 紅の花 蛇衣ぬぐ

六 袖松瓜 **七** △灸茶茶 △魚らしま **八** 蛇穴へ

入 紅草

と **正** 子の婚 年まうへ家 年の花 玉 年男

身徳 屠蘇 度徳 移志飾 とうへいしり

花 鳥退ふ 樵舟 十月戎 大坂 とうんど 十五音 蘇

るさめる △号えはる △飛入様 **二** 赤福寺せん

るう 初午 赤福寺毎過路 とうり特 とうり

△ 鳥の巢 鳥の古巢 石籠 **三** 鶴合言

去佐海魂死口上 書の巢 号うへ家 **四** 去書言

十五日 とらよ花 常盤木の花系 とうや書 通

一 鴨 常記 **五** 樵舟符 五日 とくまの

照射 虎が涙雨 廿八日 **六** 轉 はく 河舟茶 虎

の尾系 とうりてん 去用子 **七** たいまろう 七々

とも一妻 日 号舟の火 十六日 燈籠 とうり相の花

富茶の花 箱 とうりがりー 葉麻子 とうんがう △

冬とぞぐ **八** 冬浦茶 冬門 鶴瀨 冬門 とろりの花 木
 駿河 冬門 除穢茶 **九** 鳥羽茶 冬門 十日茶 冬門 どんぐり
 根柢の茶 冬門 とろり茶 冬門 とろり茶 **十** 赤坂寺用山
 忘 冬門 柘の尾虫茶 冬門 とろり茶 冬門 △冬とぞぐ △冬とぞぐ △冬とぞぐ
 冬とぞぐ 冬門 △冬とぞぐ **十一** 童女は鏡 卯日 冬とぞぐ 冬門
 遠濃茶 冬門 冬とぞぐ **十二** 豆腐こやし 冬門
 身越 冬門 冬とぞぐ 身本 冬門 冬とぞぐ 身忘 冬門 冬とぞぐ
 末 冬門 身の尾 冬門 冬とぞぐ 身の尾 冬門 冬とぞぐ 冬とぞぐの果
 冬とぞぐの果

正 子代の春 後とち 快書 子代水菜 △首
二 児梯 地虫あり 治身酒 **三** 茶の花 冬とぞぐ
 沉丁花 茶摘 茶の試 **四** 地と茶 冬門 茶と茶
 茶せん茶 妻 首の茶 △茶と茶 **五** 長命茶 冬門
 粽 冬門 竹碎日 冬門 茶と茶 **六** 茶と茶 冬門 竹と茶
 茶 冬門 茶の茶 竹主人 竹奴 **七** 中元 冬門
 地と茶 冬門 地と茶 茶と茶 **八** 茶と茶 冬門
八 長夜 **九** 茶と茶 冬門 **十** 茶の口切 茶の花
 茶と茶 △冬とぞぐ **十一** 茶と茶 冬門 茶と茶 冬門

の

正 立春 履端之日 臨財密言 **三** ころんごの花

四 立夏 結花會 八日 利根孝 九日 **四** 友社祭 北五日

六 ころんご **七** 立秋 律のあそび 律の風 ころんご

ころんご **八** 結花會 **十** 立冬 **十一** 懸葵 一日

四 ぬふい 布羽織 布羽巾 **七** ぬふい

ぬふい **九** 向膠本 **十** ぬふい ぬふい

十一 ぬくめ ぬくめ

八 縷織 翠雀

正 親子茶 大飾 大ぬく 押敷 おさぐら

を

激馬奏 七日 連秋 十日 杖 上卯 男踏 十四夜

女たうり 十六夜 とも花指 鬼孫 猿魚を糸

△懸月 △紗糸 △とそ糸 日 **二** 秋奠 又八月 又原

糸 上卯 誦念佛 萩の燈系 萩のあそび **三**

遊勢 十九日 延梯 鬼あそび 紅元夜 **四** 六

矢殺 十日 大津糸 上卯 大神祭 三倫 **五** 大系 じ

鬼百合 **六** 蒸ひ 仲給 大萩 **七** 男たる

ころんご 燈籠 十五日 火 十六日 踊 音階 九

小ぶるまの花 茶の花 男へー 女命花 公卿茶

才切茶 鬼ごころう △萩 △萩の上風 **八** おり

るいの花 尾花 おみの志こま おりい茶 つんぐり

後穂 ちり鮎 △小田守 **九** 岡崎茶 十六日 落栗

ちり推 おもとの実 し女花 きく 尾越の鴨 獲

鶯をきり 落しあ **暁稻** **送稻** **十** 湯玄

穉 いのこ 天社神 中ノ妻 出せ 北三日 **十一** 小忌衣大

萩 かぐ △落茶 △遊香符 △死香 **十二** 小忌衣大

さいとう **十三** 火燈 北之日 **十四** 俳茶 廿八日

おへま 喜の **十五** 乙子羽日 乙子の飯 日 鬼やい

わ

岡見 おりし慶 大系ごこ紙 大二十日

一 恙あぶす 恙あ 恙と年 恙餅 恙菜

りり茶 女王祿 合日 恙みどり 恙松 △お和布

△山 い **二** 恙衣袂 南熱 恙梅 恙 あ び て した

三 恙痛 別と痛 恙蔬 恙點 **四** 綿撥

和奇茶 十七日 恙楓 恙茶の紅糸 ちり茶の花

ちり茶 綿 ま く △お根 **五** 恙竹 恙苗

早瓜 恙州の花 **六** 綿の花 **七** 童とよまひ

お梅 表りし虫 △恙たをこ △綿のちり △黄糸

九 後會 後會 紙學 紙學 十六日 十六日 されもぢり されもぢり 十 十 △まご子

△綿がけ

か

正 改旦 改身 門の柿棚 門松 飾炭 飾竹

飾繩 びょう菜 柿綱 梅子飾 榎の栗飾

教の子 かんをねふ 虫和 饅餅 買和 饅餅

かゆの本 十日 かゆ杖 十日 かゆ板 十日 かゆけ 十日 後 十日 全 十日

△陽窓 △川柳 △川添柳 △川らさ △加田のり

加田和布 二 曇日糸 上申 貝よせの風 かぎごまび

まぐら菜 かによる う海香 海香 寄居虫

蛙 蛙子 三 紙籠 かを標 かみハ標 かぎし

草 さう 海棠 かうま 切らばけ 柿れさう

かうらい菊 蚕 かぎ茶 四 堅回糸 上巳 神

糸 戒壇堂用帳 八日 袷衣糸 十日 蚊屋けつり和

柿の花 梅子の花 要の花 杜若 かによ花 日

かいつらさ かし葵 風車 かんこ香 かさめの子

鯉釣 蚕けまゆ 蠶毛 こ △蝙蝠 △蚊喰香

△蚊 △蚊板 △蚊中 △蚊とんぼ △蚊帳 △蝸牛

△柳葱 五 加養足拵 一日 日懸馬 五日 越人 日

艾虎日 飾甲日 游日 川系までしこ かのこ
 百合 かのこむら 蚊屋日 蚊屋日 麻の子 鴨の子
 うまのこ 帷日 **六** 掛綱日 おろす 嘉日 十六日
 風薫 川系涼京 雷の陣 香日 掛香
 河狩 射日 眼日 楳の花 紙日 蒲
 の穂 かつ瓜 下日 上日 波日 十六日
 飛代 川日 辛日 **七** 梶の毛日 七夕
 梶の葉日 かつぎの楳日 多日 核日 十日 門茶
 柿日 めん 楓 紅梅茶 垣豆 南日 蠟日

かま日 風侍茶日 冬日 瓜日 瓜日 瓜日 瓜日 瓜日
 △片日 △松日 △川系日 △川系日 △葉日 △葉日
 瓜日 京日 十六日 梶の花 かつ日 草日 草日 草日 草日
 萱日 草日 草日 草日 草日 草日 草日 草日
 菜日 一日 かつ日 子日 片日 系日 香日 一日 風日 呂日 穀日 穀日
 か日 一日 △桂日 新日 △かつ日 男日 **九** 桂日 の日 文日 ノ日 相日 樸日 八日
 神田系日 十五日 上日 雞日 波日 系日 廿一日 桂川日 の日 後日 柿日 柿日
 つ日 柿日 り日 み日 ち日 柿日 子日 櫻日 の日 実日 形日 見日 茶日 三日
 枯尾花 枯日 母日 々日 枯日 母日 々日 冬日 霜日 三日

十 貳 廿一日 神送 一日 神の苗 神集中ノ亥

神送 川音の付る 片時雨 うつり花 うつ

咲 樵の花 冬菊 △枯柳 △枯草 △枯房

△牡蛎ウミ △貝燒 △まきぬろふと △鴨 △将場

のる △将場のとくす △紙子 △紙ふとぬ △ま

ひく 十一 かづと和 髪並 かぶた敷 神乐

神樂の祝ひ物 将の使 掛香廿七日 春日後日

終廿八日 待あふ 待さゆる かんくも 牡夫魚

十二 かづけ糸 きの入 きごう きざし

上

よ

き念仏 きて夢 かん造り きて竹の子

きて梅 齋カ和て菓と喰ふ 門松いとまむ

飾りう夢 かやから栗羹 神のおあ羹

柿とり又糺

正 四方の虫 よひの年 吉田清後十九日 餅久ん

よゆま 嫁がとれ 二 吉野燦祝一日 三 葦燦

三日 吉野舎式十日 味子香 よう一の茶楊

四 吉田系中ノ亥 浴伴 八日 余花 夜うき香時

葎系雀 よう切日 五 葦刈音 葦ふく日

四つらの花ひら **六** 四手細 節 **八** 夜さ

九 夜繁 十日 よりいまき **十** 夜奥引

十一 吉田大根

十二 春 その年 立松 玉井 大黒森

儀子 田はくろ 檜 大根いり

たうやく 店 おろし た 怨の法八日 心算十日

田とくろく 田くへと 種くめ 唐 首 玉

柳 **二** 新緑七日 種井 種をく 種ぬ

せり 種まく 田と燧 大根の花 蒲ふ 英

田外一 養化して燧と女 送明寺九日

三 上立雛 三日 竹の秋 高雄法 花十日 雄

女論十日 有る此 巢 冬山府君種 **四** 高一 象

上申 多賀 象上 巳 珍田象四日 橙の花十日

玉史 芭蕉 玉ま く葛 養の と入 橘を

たそ ろれ 象日 橘△ 菊△ **五** 端午五日 竹植 日十日

田植 田新 玉苗 **六** 納涼 紅の とく み京

滝後 抱糸 簾干 田茶 糸 竹の 皮と け

七 立秋 たまごて 七文はめ日 薫の婚日 鬼
 糸 たま棚 柳経 ちり紙紙 歌目 地り 十音
 大文字火日 看るれとや出 看るれと別 看る乃
 ふうり たうす 看る鳥と糸 田は虫おとふ
 △田の菴 △看るの羽落 △紫の茶 △立待十七夜
八 田の冥一日 たのむれ経日 揚秘 竹乃玉
 葺 茸物 どんごの花 畝の花 蕪元
 の花 とその種 玉づこ 大え存 たうやく
 引 種ふく登 蜀黍 太刀魚 田乃毛

田刈 △田と身 **九** 碓の糸 九日 碓の種 日 突
 の市十三日 佳吉 旗戎糸廿日 だもれ突 橙 **十** 在
 广忌廿日 △看る符 △看る匠 △看るれ太 △
 作等 △看る △大根 △大根引 △大根と糸ぬと
 △湯波女 **十一** 徳鬼糸 中寅 大師徒廿日 煮水
 玉子酒 **十二** 大燈舎廿日 大ぼち 朝味唱 炙糸
正 壘辰辰人日 **一** 卵見 十日 **三** 蓮花つし 煮麩
 今注 **四** 玉ぶる **七** 雀絨 **八** 煎支 連歡
正 神ぎてう 獲民將来 八十九日 **二** 園のくり

し

糸上巳 **五** 袋紋袴音 ちり豆引 **七** 滲水△

袖仕着 **八** そごろぎ 蕎麦の花 **九** そごろ豆

植子 そを刈 **十** 雪車

正 包お 拵 細引 袴庖丁 土筆 △椿

△はくく松 **二** 播本 けき種 南ぐむき 鞍

茶 薺れあま 燕 はむめの菓 猪尾の巻

三 はくじ 芽花 つすくれ はくま つじ衣

四 挽广象一日 薺緑花 △はむ守 **五** はトグ花

入梅 **六** 月吹去音 けほ象音 けつぐひ果

新塚まき 青はくし 月さじ **七** ねほひ

はまむく一日 葉ま一日 ほと入音 はぐみ

さそく鳴虫 切蠟 △あき △つぐ松葉

八 縁雀一日 敦賀象音 司る音 青鳥象音

月見△月 △月れ弓 △月さり △月のかつ

△月の都 △月の友 △月れら音 △月乃花

△月の紅 △月の紐 △月の嵐 △月れ眉 △月の雪

△月れお 燕く音 はぐみ あま 月葉音

蔓さ音 つよと菜 病を音

つよと菜 病を音

九月の名残十三夜 高志ぐれ 高志ぐれ 高志ぐれ

著るさみち 椿の実 津村糸廿七日 十大坂 つめとれ

ほいの花 △歌巾 十一水極 高志ぐれ 高志ぐれ

十二 遊廿日

正 車歌 年礼 子礼日松 子礼日松 子礼日松

根白茶廿 猫の意 猫さる廿 二 温廿 三 音

三 杯廿 四 杯廿 五 杯廿 六 杯廿 七 杯廿

五 合廿 六 合廿 七 合廿 八 合廿 九 合廿

羊供を 杉の糸七夕 △線廿 八 荒草

ね

九 念佛十五日 念廿 十 念廿 十一 念廿 十二 念廿

十一 子祭 子灯廿 十二 年貢細 年内立廿

正 七日廿 七廿 八廿 九廿 十廿 十一廿 十二廿

名残の雪 △名古吞うど △おぐさ日

二 苗代 苗代奠 菜の花 菜の花 菜の花

得 菜種廿五日 三 梨の花 梨の花 梨の花

名鳩橋 七廿 八廿 九廿 十廿 十一廿 十二廿

夏ちうれ 夏と傳 四 中山糸中西 夏本立

名五草不え 生節 △虫廿 五 ぶらき根廿

な

茄子 夏菊 みでーこ 南天の花 生薔花

六 夏神木 夏よりい 名紙の枝 夏切茶

夏引の糸 夏花 夏虫 赤良漬 夏ふー

納豆仕込 夏くれて 夏深さ 夏の別 夏の限

夏こて 夏よりい **七** 七箇の池 七々巻 あこ夏

△唱子 **八** ちり夜 名る月 名れ木 中様

みめ草 菜種翁 みるき大根 あんどん 非

壺瓢 中汲 **九** 梨子 南天の実 猶 さみち

鳴滝泉 廿八日 **十** 名れ草 鳴 生海草 △納豆汁

△ふべ焼 **十一** 内侍所侍神楽 廿六日 ふやらみ 三十日

子鳴く年

三 礼弥律 十三日 **五** 梨の湯 六日 **七** 南 **十一** 獵

八日 臘八粥 日 獵日 辰 臘梅

正 梅子飾 結い昆布 馬糸初 六月年紙

梅 梅去よ 梅の花衣 △梅久祖 **二** 虫 出

雷 蕪 紫薺 **三** 梅蒸糸 十五日 夏よりい

四 梅蒸糸 上西 向日明神糸 中辰 夏花 夏花

笛 夏秋 夏四 △夏の粉 **五** 六日鳥音

梅の雨 室家十三日 六 虫予 虫拵 露はれた

梅漬 梅むら 七 虫終 虫合 じー 馬

追ひ虫 追ひ待九日 追ひ火 室の子とせ 枝

八 梅もどた むくも 九 梅りみち 椽の

実 木く実子 枝の実 十 村志ぐれ 麦荷

△室乃梅 △ひろ子も △六の花 十一 宗儀上卯

十二 裏白 徳初 裏白連秋 樹墨 貴初

卯杖上卯 卯挺日 土粒步十音 魚歩はのを系

暑菜 雨水う △雪 △奇よも日 △うご寸笛

△鬱 △麗 △うど 二 姪拵 ぶか拵 三 羽拵と

拵と上巳 涸拵 鶯の巢 うくと吹 藤初て生

四 卯の花 うつこの花日 雲砂拵花 卯の

花ごう 卯は花衣 うつ不葉 うみひ子も

△鶯 △鶯初 △鶯再 △鶯はうい △固 五 字拵

△八日 △平のな 雪音と入 蛆 浮巢 羅の

六 温風 うつ蟬 浮葉 七 馬のううと

干の盆 空拵る うくんのな △鶯 △うを鴨

△うみぎ梁 △うをあ 八 字依家十五 鶯初を

九 字依家十五 鶯初を

このの

原の花 宇治の花 嵐の葉 うそぎ

九 ちんねん 十二日 牛糸 日 うら枯 雲加橋 漆

りみち 漆の葉 漆のく 十 雪の子かき

煙火 △ 漆の少 △ 浦子香 △ うたね香 △ うき

香 △ うそぎ △ 十一 移糸 廿七 宇賀糸 三十日

十二 盃捲 八日 うぐく

いのめか出く

のめ

正 賭 八日 砂る少 張る雪 砂板 砂大根

△ 海苔 △ 長閑 二 砂 砂と煙 三 とうぼ

新の法ま梨 張る花 四 △ 蚕 五 幟 五日

六 慶 花 のころ 七 張る暑 砂まきく

砂の花 △ 砂ざれ香 八 聖か 塔のひん

ほの出代 砂の念伴 九 後の雑 九日 砂り草

後の月 野のえの別 砂山の砂 砂山

のえ 十 荷 砂の使

をのめか出く

くね

正 え月 え朝 え三 え日茶 蒸用 吟族

串柿 串貝いそふ 菓子 團 柵乃 菱 團

柘笛 画鶴 具足後割 傀儡師 薙

△烏茶 △つるいのめ 二 川流去 十月日 慈心橋

物祀 茶芳しき 茶のあな 三 茶の縁 二日

勅学舎 十月日坂本 又九月日坂本 茶井橋 桐の花 九菫茶

素子 雲よ入る 四 園白加茂橋 中申 園祭 日

久世祭 中巳 灌佛 八日 九年母の花 茶いちご

花王 茶菱 惣の子 勅農舎 時き 若殿祭

日 寄代書 日 △蝸牛 五 茶の日 五日 茶玉 日

おん鶴 施の花 茶れ実 栗の花 車百合

雲見茶 茶ん 茶園茶れ花 茶ん 六 苜蓿の花

苜蓿水 霍乱 茶乃家 水母丸 七 茶子

秋 茶との花 茶ん 茶の虫 親善茶 嚙む

△九万足 △花檀 △茶れを 八 茶名祭 茶

茶引 茶垣 茶皮茸 園 苜蓿の根垣

茶の父 茶れ実 たり茶 たり茶 茶の茶

九 茶の茶 九日 茶いさふ 日 茶菓の袋 日

くまの佩 日 鞍馬祭 九日 栗名月 栗 兵服祭

十八日 栗季の实 茶菓 九年母 茶の神

茶

善の杖 九月魚 **十** 葛のつら △くらあ茶

茗茶 △くらあ茶 △くらあ漬 △くらあ湯

△鯨魚 △鯨魚 △鯨魚 **十一** 鯨魚

十三日 **十二** 茶の味 善の杖 善の杖

十三 宿の春 △茶 やり羽子 やぬへ 十六日 厄

祚糸 十九日 △山は笑 △八を履 △柳 △柳髪

十四 八を梅 △と焼 焼野 焼野 すくすく

八様初卯美 △山崎 **十五** 柳のつら △茶師寺

△山崎 七日 やさしく △花 十日 △山崎 八を梅

△梨の花 揚梅の花 △山崎 柳鬘 柳の糸

魚 やよひ山 △山崎 **十六** △山崎 日 使 三日

△山崎 上巳 △山崎 八を履 △山崎 上辰 △山崎

ちこの心 教徒 △魚梁 **十七** 茶の味 五日 茶

茶の摘 日 揚梅 やまと梅子 △山崎 田崎 田崎 田崎

十八 やりあ **十九** 懐安居の頂 十五日 やいと花

益母草 茶師茶 柳の葉 焼茶 揚梅

△山下 茶 △山崎 **二十** やりあ △山崎 山あいの花

八束穂 柳茸 △山崎 **二十一** △山崎 山あいの花

ま

八岐花の改昔 山姥人 山の錦 女まと芭蕉

山利ホ子 山名茶ま 燧栗 十八年の花山

眠るま 十一 山あいの袖 十二 八月うまさ 厄拂

やくま 山名茶

正 松かきま 万歳 春初 松の内 松をまし

春は徒 松の花 十三 磨耶糸初午 松

いま 馬が 十四 松の尾出 眉ひり花

四 松の尾上酉 當まの糸上酉 天ま茶ま 松あ渡

夏まうま 五 松本ま糸初日 蒸ま菰ま 六 餅ま丸

七 松虫 藪ま珠ま沙ま花 極 山ま茶

△松名茶 △蒸ま菰 八 待宵 松ま茸 蒸ま茸

向引菜 夏まき 梅まこ 九 豆名目 井ま井市

十三日 夜まき ままのまのま 松まの子 ままてまのま 十四

めまり はまきままま ままめまの花 豆ま引 十 松風

のま雨 △蒸ま鴨 △丸ま中 十一 豆ま井 豆まるまと

孟宗竹

け

正 七ま胡まのま春 今日春 舞ま舞ま文 春ま子ま糸

外ま記ま改ま初 吉日 三 毛まりまの花 けまままんま茶 五ま飛

源平樹 黙けるむ **四** 夏入 台 蕙 けいれ花

△夏書 △夏詠 △夏行 △夏花 **五** 夏後 五日

東の何かう也 日 東のあつもの 日 けつり抄の甲 日

えをかゆる書 黙待 **六** 夏詠のは粥 十二日 毛虫

七 と初秋 きよの杖 毒牛 七々 夏書納 △

鶴詠花 **八** 夕月の月 馬藪の花 けいけい

え見 **九** 秋撰 秋りみら 七々 **十** 下元 十五日

十一 福壽茶 ぬりく 福茶 左著 福福 船系初 筆はくせ 筆試子 ぬきり

覆後執 名 船系系 二日 福又也 右年 番餅

古茶 露の巻 露のまうとめ 筆はくせ

△船系まもと **二** 二月灸 冬後梅 **三** ぶらぶら

孫 ふがん象 橋 **四** 佛生舎 八日 ぶらぶら茶 ぞえ

富平茶 日 不如帰 風呂の茶 △露 △船系

△船系 △船のうり **五** 夏書系 音 夏書を馬 日

粉園 日 危車 日 富士垢離 瓜の花 **六** 富士

詣 九日 船越 瓜 風扇 腐茶の愛とあふ

七 船形の火 十六日 茶むらほ ぶらぶら茶 旗 龍菊

△依待 十九夜 **八** 二季より **九** 二枚月 十三夜 縁王

神奈京 廿八日 越前酒 松平梅 縁豆引 冬と待

冬と待 冬と待 **十** 冬と待 冬牡丹 冬木の梅

冬木立 冬と待 冬と待 冬と待 △畑ぐさ

△ふとん △ふとん △ちきふとん △河豚 △ふくと

汁 △柴づひ **十一** 吹草奈 八日 鯉 **十二** 仏名 十五日

古昏 札納 **正** 曆開 小教系 胡鬼板 ちだの子 小胡珠

七日 小松引 五日 摺 七日 又 七日 赤 赤 赤 赤 八日

去年 今年 水子 氷のたま

木の芽 △たぶ柳 △約香 △翠引 **一** 小蝶

和梅 ちきぎはじ **三** 小引 小梅乃花

小茶系 小てま 辛夷 小鮎 巨魁ふと

穀雨 **四** 衣ぐへ 一日 五香水 八日 小葵 本乃

下園 古茶 △ちけら鮎 △鱈 **五** 又 糸 廿日

今年行 小梅 薺の粒 加六梅 小あぢ

六 氷燐 一日 ちきひ虫 ちきひ **七** 浄霊

の田出 廿八日 ことり使 ことり 廿日 △和 廿日

△

六 天波津後北五日

八 てくらばき

天物尊 △

照る月よそ

九 天王寺くらんでう七日

天波やぶさめ

北五日 十 △手いづり

正 五早元日

明の妻 あら玉

新三年

明る年

初節

履灰と花と 妻

白馬の節舎七日 あぐさ

め十一日

あらしとらふ十日

あつと十五日

舞十三日

△ほくらり

△青めさ

△青おり

△淡茶苔

△青柳

△青柳うま

二 藍まく

麻まく

初葱

青おろし

芦の角

芦の稚

芦の芽

初春

あまかへる

まき

あ妓

三 蝶

三

まらと踏ひ上巳

粟津糸五日

淡茶

糸十八日

淡茶と楊

曝の茶楊

あぐさ日

あんと

のた

あいの浦さ

馬蹄花

あざこ

あづ

ま菊

本通の花

ま茶の花

熱汲

あひふ

四

青の履一日

扇の絆日 給

夢まら中 酒

夢あぐ日

夢大車日

夢

近江八幡糸中 卯

ま麦

桜の花

安居

△麻

△明安と夜

深

△汗ぬがし

△編笠

△まき山椒

△あかざ

△鮎 △茶葉 △洗練 **五** 秋草 三日 あやり

の奥日 草蒲ふく日 草蒲の礼日 あや免日

草蒲ふく日 棟の仰日 有さし日 廿五日 あやち

の花 青梅 紫子 青柿 紫陽草 朝菊

淡色 粟菊 何れも所 **六** 秋田家 廿五日 芦の神樂上日

何れも日未 廿四日 雨乞 青嵐 青赤風 青田

赤茶 麻 麻刈 青さうりし 青大角夏

青丸 あらごと 又秋代 青魁灯 あま酒 麻地酒

野さ日 何れもこの後 麻地茶流を 秋を隣

秋近き 秋を待 **七** 秋とつ 秋の初風 新に

涼し 朝顔娘七々 秋さう夜日 天の川日 揚

焼籠 盆 青そを日 あらの実日 青榜日 麻

何れも者日 あらごと火 廿四日 秋は虫 赤とんぼ

秋の蚊 秋の蝶 扇盆 朝茶の湯 あつ麦

粟の穂 青餅 青ぬくべ 蘭 青楓 △豆

青弓 △網掛 青弓 △秋風 △秋の文 △五月月

△秋の田 **八** あやは八橋糸 廿五日 ねさむ 盆

の花 青花 芦の花 芦の穂 あやび

あり孫姫 粟刈 胡弓まゝる 鱈 鱈

あり是蚊 綾巻 秋の考 秋の夕暮 **九**あ

くく酒九日 粟田口祭十日 あやえ祭十七日 秋雨

小豆引 青豆 芦の穂綿 青梨子 烏桕

綱代坊 秋の深き 秋の浅き 秋の名詠 秋と

おしむ 秋のて 秋の限 秋の別 秋のう後

十あゝ雷 雲あ 厚歩 綱代守 綱代

あどろ木 ありの村考 ありぢむ 戦

十一桐葉あ 桑あ ありま酒 青丁菜

正奏賀 雑煮 糍引 二月日 歳旦宴

幸本 幸終 縁あ 立春 た義長十八日 縁

うへ乾 張雷 雑菜つむ 又はさ 山柿

の皮 檜あ 檜あ 佐保姫 **二**さりし佛

十八日 檜梅 子あ さいわいばま 佐保姫あ

三玉と流と 娘家六志十五日 檜 西の檜

檜戸 さくら田 檜人 三月菜 三月大根

より煮 檜茶 檜鯛 さくら魚 檜うぐわ

檜貝 檜衣 檜うさあ 二月盡 **四**下あ 日

山王象中申 後家象中支 三枝象 林とけ

林とけ ころろの実 薔薇 子苗名 △ころ

布 **五** ころころ玉音 最勝儀 五月の鏡

み月園 ころみどろ ころき雨 松樹の花 林の

花 ころきついで ころころ花 ころへふ

早苗 子乙女 子松草 ころゆり 舞虫子

六 相國寺せんぢ十七日 産路のころみ 産広

清媛廿二日 ころころとけ 三依 ころろー井

早お花 ころころとけ 大角豆 檜麻 響草

鱧は象 砂粒あり **七** ころか母娘七々

柳鱧 二七の花 △小男麻 小集 △はらま

萩 △美老草 **八** 場天神象四日 西彦象

廿日 率麻象廿日 檜樹 沢橋枝 ころころ

二又の夜 △ころけけ月 △孟の粒 △婿嫁

九 張菊十日 産広象廿二日 産路象廿四日 楊柳象

ころ粟 西海子 **十** 張菊廿五日 山菜花

ころけ朝 ころけ夜 △ころま ころめ

△ころ鴨 △小長子象 **十一** △仲象廿日 里からく

十二 五持寺くらりてき 十五日 女文の繪る 三十日
不梅

き

正 君の春 越折 ますとらどめ 去書 清

葵の 紙墨けづら 拵 九期 吉書とる 十五日 序忌

十九日 木の芽漬 △経よむ書 考 △ま衣書 去書

廿五日 子こもる 日 木地の拵ふら 三 初基末 二日 祈年

衆 四日 ぶとん八儀 八日 水師のゆ忌日 廿五日 季清

俵經 維子 ともとも書 帰厂 山入切厂

菊の分根 菊苗 葉汁あ茶 三 経供書

二日 曲水 上巳 相ヶ谷機 湯浴つじ 金風花

ま錢花 菊梅うへふ 夕菜 四 ころうの花

きこくの花 木いらど 重林の花 嶺芝草

きしくの花 △おこ子 △木布 五 懸經 音

紙墨神輿洗 廿日 金根花 畑尻 懸まく

六 紙園舎 廿七日 紙墨山鉾の名 ぎとん臨時

衆 十五日 さくらんげふ 梅馬 ぎやくし ともえ

ま 七 逆のま入 水師はみ水 六日 水師社壇

蝶拵 廿日 清あ千日詣 九日 牛女 七夕 銀河 日

三巧藪 日 榎木流 十六日 三つと 三つとくさ

桐 桐散る 桔枝 切麦 〇雪の海 〇雪の雨

△本流 〇 八北野 〇 〇雪の雨 十六日 〇雪の子

〇雪の雨 〇 〇雪の子 〇 〇雪の雨 〇 〇雪の子

酒 菊 〇雪の雨 〇雪の子 〇雪の雨

金柑 〇雪の雨 〇雪の子 〇雪の雨

〇雪の雨 〇 〇雪の子 〇 〇雪の雨 〇 〇雪の子

〇雪の雨 〇 〇雪の子 〇 〇雪の雨 〇 〇雪の子

〇雪の雨

四

正襟 弓ろくめ 湯屋始 夕郎 雪の雨

雪間 雪解あ 雪の雨 雪の雨

雪下 〇雪の雨 〇 〇雪の子 〇 〇雪の雨

〇雪の雨 〇 〇雪の子 〇 〇雪の雨 〇 〇雪の子

〇雪の雨 〇 〇雪の子 〇 〇雪の雨 〇 〇雪の子

〇雪の雨 〇 〇雪の子 〇 〇雪の雨 〇 〇雪の子

〇雪の雨 〇 〇雪の子 〇 〇雪の雨 〇 〇雪の子

〇雪の雨 〇 〇雪の子 〇 〇雪の雨 〇 〇雪の子

〇雪の雨 〇 〇雪の子 〇 〇雪の雨 〇 〇雪の子

〇雪の雨 〇 〇雪の子 〇 〇雪の雨 〇 〇雪の子

書志まよこ

十二初

正 月より柳

三 月より

四 月より

五 月より

つゝかき 時き

七 女とありて

妙法十六日の穴なまき

めろとこそ茶

八 名月 月白

十三 免うらの祓

る北日

み 正 清代の春

二の初

二の始

三物連

三物俳諧

あはれ

水あひせ

箕面の富七日

浄修八日法八日

けみ新十五日

二保十五日系十五日

あま系又

あ入菜

みどり豆

未開紅

水ぬるむ

△あ

る 糖

△みゆき

△こ茶

二 水間系初年

あ 糸十日

あひ糸

三 己の月三日後三日

三日の海

有糸中平

水尾糸九日

壬生念仏十四日

壬生観

言

浄観廿一日供廿一日

こ子代茶

みさご茶日

涼山中平つし

茗荷竹

四 あ唇三日の結五日

浄

強中平日中平

みりんの花

海初

あ鏡

あ鏡

ろくど出る

△短夜

五 あもれ果

水馬初年

六 水芙蓉

あ塚えす茶

茗荷の子

あは粉

あ飯

あう合

あまが川

あまづら初年結初年

★

七

七 薺尾菜

あけ茶

二井寺女詣 十日

みさ

△糸 廿七日

みの虫啼

まがす啼

茶荷の花

△力又入

八

△二村糸 二日

伊津八幡糸 十五日

あ引の花

水初てり

△二日月

九

蜜柑

水梨子

十

△みどれ

△この花

△あま

△あ

酒

△本鬼 又秋

十一

△二樽酒は市 十日

みどれ

酒

△深雪

十二

△清園忌 十日

九

上 下午 箕和田の鯉

正

彩去

浪連飾

齒取

試幸

試毫

粥茶

春燕をいごま 立去

春盤 日

四方洋

叙位 十日

人日 七日

浪連の内

杉進供 五日、十四日

天工寺

十四日 糸越

上元 十日

獅子改神子 十日

いせ

白梅

下敷

白魚

△白玉椿

△志ざり新

△規

△春常鴨

十三

△芝蔴

七日、十四日

△常楽去 十五日

△其病者

積塔 十日

系

聖具舎 九日

天書

社日

社羽の雨

芝

白く

白尾の巻

似家蜂

康角落

十三

靴

靴のたひき

紋テ 二日

喉の巻り

塩竈橋

破お花

志てこぶ

白つど

白菖 新葉橘 桜の花 春菊 **四** 白重一日
 若菜 若尾 芝朶 志の松 志んさん
 志事終草 志どお木 志げお山 新樹
 塩見草 卯の花 志も海の花 新葉 四年の
 田長 麻の代表角 △新麦 △塩いり **五** 意
 蒲かごむく 菅蒲刀 志やうぶ酒 菅蒲
 ゆく 菅蒲湯 秋あ十日 志んさん 志も
 はやの花 地味子 志ん丸 志も毛とる
六 揚まん末一日 秋今十日 志浸草末

十七日 清水むこよ 清あせく 清あせ存
 清あ汲 志んお山 白がんでん 新めん
 志ん又秋よ 紫菜 志油つくは **七** 七夕
 二星 織女 七夕鞠 赤井 聖具まのり
 精具柳 麻啼草 秋海棠 志娘梯 処
 暑 △白露 △新沢 △志の橋 △志のぶ草
 △鹿 △麻の妻乞 △麻笛 △麻符 △鴨
 志ん又秋よ **八** 死活杖系 秋社 戌日
 白髭開帳 音 秋分 音 新月 十八秋 若菜の

分根 志とん 車あ子 新刈安 推しけ

ト流 ト 松露 安子と茶 と 新茶 新茶

新酒 志ころ歩 四十歩 鶴鶴 又春

九 四のま糸 十日 下鳥羽糸 山城 白川糸 十日 城

菊神糸 十日 麻谷糸 十日 十二夜 推柴

推 志む栗 新榧 新初榧 新松子 熱

柄 志む心麻 白子茶 十 十夜

時雨 △糸 △白炭 △助炭 △子煙 △安糸

塩鱈 十一 おお少る 志枝 秋生姜 生姜酒

彩テのぞく 十三 師走 正月奉始 除夜

擗の餅 正月

五 志方 志ぐつむ 後ぶ 正月 △縹の花

二 志宗寺志務會 十九日 越中梅 三 江戸梅

志び絲 四 志びす茶 枝の蛙 五 志ん豆引

六 江戸山王糸 十五日 鱈 志天 七 枝さけ

枝豆 志んま糸 十六日 梅の花 志びりけ

△志のこ茶 △江戸糸 八 繪行茶 一日 志やと茶

九 榎の美 十 志ひす篠 十日

八

正月の始 并紀午房 初くた豆 ちめろくめ

沙のためし 能鼓 七耀法曆 昆沙門

功徳後日 常陸常律 平雲の粥 ちこく久

ちこく久 △麻毛 △人來る △ちこく久 △

雲雀 △丁鱈 比良八條 八日 ひぐんさく

彼嵐 一き楢 引鴨 墓 娘玉子香

三 雜系 二日 雜かざり 雜好ひ 菱の蔭

比良系 十五日 人丸系 十八日 人丸さく

雜桃 ちち極 娘つじ 楸の花 ちく唱

四 平野系 上申 日吉系 中申 廣瀬系 又七月

美人系 △日傘 △草物 △ちちの御殿 △燈

ちちやけ △丁鱈 △丁ふぐ ちちやけ

百葉哉 日 びよう 柳 枇杷 ちち百合

菱の花 稗まく 六 氷室 日 沙室の音

沙室のみつき 氷室の檜 沙のおもの

氷あえす 日 衛火系 北日 百日紅 ひあまぎ

花冠 ちちごの花 蕨 娘叱 日向あひ

ちちり香 史系 ちちよ酒 ちち海作

引飯 日女皿 **七** 楸の葉をいさぐ 彦星 七夕

蛸 玉中か 玉や麦 一葉 一葉ふ 楸

葎麻子 菱の実 **八** 弘板 玉がう

玉と死 ひよき 菱喰 平草 稗か 乾

ひしこ **九** 百菊 玉よきと戸 楸 玉つら

十 枇杷の花 桜の花 氷魚 火桶

火鉢 沙面鏡 玉とり **十一** 日

吉臨時家 申 日美法のかはら 日美法の糸

十二 玉つらとさす 袴囊

山

正 もちお鏡 海曲 **二** もろこ

緩花 **三** 松の節 二日 松の酒 日 松の毛

本蓮花 りちほ **四** 木林本糸 上ノ甲

もろこ 中酒 **五** 藻のり花

藻とかは 藻のり **六** 持綱 **七** 百子娘 七々

紅葉乃橋 日 百箇乃津 日 文殊會 八月

梳を借 玉 梳のう美 藻よ 蛇虫の音

△百拍りさ △ 紅葉を △ 百舌 △

△とすの茶く △ もす △ とあ △ の秋

山

七

△もくぬく物 **八** 重月 星の影 重月の影

色くせいの花 木芙蓉 も強 **九** もみち

紅紫の草 お恵子 一夜夜まきく

のみぢら樹 紅紫夜 **十** 紅紫ふがはく

△洞実 **十一** 鏡つき もち花

十二 井花あり ふ妻万歳 椒柏酒 椒觴

仙東 生葉 節振露 節小神 △芥

十三 生子と献 一日 浅間系 北日 釈奠 上ノ丁日 又八月

十四 清明号 泉涌寺田山忌 八日 善乃寺忌 十日

七七

千本念仏 寺中 千本狂言 仙基萩

四 千巻子 十六日 三井寺 麦門冬 石斛の花

ふ日紅 **五** 赤重葎 五日 関糸 日 石竹

せんごんの花 石菖 蟬 **六** せんあ

蟬のもろき 蟬のうろせご 籠 磁器

七 穢暑 一日 星夕 七日 星河 放翁鬼 探侍

仙翁花 △千秋楽 **八** 鶯 鶯 **九** 泉涌寺

舍利會 八日 せんごんの実 仙薺 **十** 雄雉と

冷小 一日 誓文拂 北日 **十一** 小郎分 節季い

す

正

於菜 まゝ しろ まゝ しろ まゝ 湯弓 十三日

△酢蛤 **二** 於菜 まゝ 於の落 於 於こさす

雀の巢 雀乃子 **三** 須广の板 三日

李の花 種 枳の花 董

四 任者初卯 上卯 薺 のま糸 中ノ年

條乃子 △馬齒 薺 △鯰 △雀 まゝ

五 水圍 五日 任者津田 廿八日 梨実

梨乃花 未摘花 瓠瓜草の花

六 任者津田 廿日 任者中替 廿日 菅貫

納涼 薺 薺 ちくちく虫 酢造

七 硯あしひ まゝ 水灯去 十六日 鈴ひ

西瓜 △落 △藜 茎 △まきひ草

△相撲 △薺 ま がゆ 味 **八** 冷 る 落の種

九 任者相撲會 十三日 任者津田 二十日

為散 雀蛤とあら **十** ちくちくき 拵

△水仙 △杉 燒 △炭 △炭 燒 炭竈

△炭取 △炭賣 **十一** 煤拂 ちくちく掃

附録



電いまひらう

雑いまづま之は

鱒いかり

雑いかり之は

いづし雲

壁生草いっせきくさ

雑いづし之は

芽の春 之は

實のゆい秋

猪いのち

雑いづし之は

蕪酒いもしゆ

雑いづし之は 暮者くしや 蕪いも 秋あき之は

泉川いづみがは

雑いづし之は

菱いづし

○

夜類いづし

之は

一百より二百まで

ろ

鹿野苑ろくやえん

雑いづし之は

は

花の木の

花の

花子はなこ

花丁子はなぢょうし

花舞はなま

花嫁はなよめ

花の縁はなのえん

花のさきはなのさき

花はな

いつしきも雑也

花田はなでん

花はな

花のはな 子こ

いつしきも雑也

系守神けいしゆかみ

初風はつかぜ

初風はつかぜ

放生はなはな

雑いづし也

放生はなはな 會あひま 八はち 幡はた

林はやし 乃の 森もり

柘山はつやま

雑いづし 之は

籠かご

芭蕉布はせとふ 雜いづし

○春五の云

と白よりぬるくつく
一白二白よりつく

に

鳩トビ難トビ

白鳥トビ

虹トビ難トビ

初小トハ春

へ

于茶トビ難トビ

茶トビ

于茹トビ難トビ

とらあめハ春 鮎ハ夏
とび鮎 落あめハ秋

へ

蛇トビ難トビ

穴と出たハ夏
穴ハ秋

きぬぬトビ

と

灯の花トビ難トビ

正花ハ用

本賊トビ難トビ

年トビ難トビ

戸の鳴子トビ難トビ

あめ

と

糸の花トビ難トビ

正花ハ用
正花ハ用

糸トビ難トビ

糸つりかき糸
糸ハ夏

糸のむトビ

と

糸トビ難トビ

花ハ夏

中トビ難トビ

茅トビ原トビ難トビ

らふハ夏
ちがハ秋

ぬ

布子トビ難トビ

布トビ難トビ

布羽織 布つぎん
布 麻布ハ夏

布トビ難トビ

と

と

糸トビ難トビ

尾葉山難
大木の果難
内旅

ほ出難
綿歩 終らり

綿つび
綿子終るじ
うつけ終ホ冬
一夜を此かさしの終る春 終まくの其

綿も其の綿糸綿男
綿女く新りとお秋
梨難
新るるハ秋

か
度谷 日河難
物難
ころ葉ハ夏
夏もすち心

秋ハ
桂難
おも夏のも秋
かづ難
一夜も
もる

里

枯木難
樾難
雷難

初かありん
春く
りめ
日果難
樾雲難

かさりの
散難
怒の
秋く
か
らの冬難

糞の花難
駕籠浦空難
羽北羽

秋の郊よあ
一院は夏も月
よ
夜美初難
ゆとんハ冬

遊生
よとぎ難
よのぎ帰ハ春
夏ふく日河ハ夏

四方の空難之廿辰難之廿芽春之夜さむじの里難之

夜さむ、夜長ふ、秋く
さむき、夜ハあそく

旭竹 竹の落葉

竹の子冬ふ難之

竹の子、ふ竹、竹の皮を剥き
竹抽き日ハ四月十一日

竹の春ハ八月
竹の秋ハ三月

鷹のゑ難之 冬ハ春ハ廿二
日ハ出ハ秋ハ

鯛難之廿玉虫難之短日難之足袋難之

田難之他田難之ちは難之ホ難之 田とく人さ
田とくハ春く

○旅難之二白之 一白より二白を
すべし 札難之孔扇難之

蓮肉難之 蓮の山安ハ甚
日安ハ秋ハ秋く 若難之春難之 梅ハ七月
表ハ八月

前ハ九月
秋ハ九月 ○遊難物二白之 一白より二白を
すべし つ難之物

鶴巢同子各難之 月の林山城

月の梅日 月の里日 月の後の里近江

月の山中 月の後の森伊 月の後の宮日

いっせも 雑之 月毛の狗 雑之 椿の油 棧乃次

棧餅ホ 雑之 収 露冷 日汗 雑之

橘 雑之 志げの葉 浪の花 雑之 非正花

梨壺 梨比 雑之 菜 菜白田 菜飯

菜汁 菜種 名 雑之 かの花 菜の葉 菜の葉

○ 甘 夏 みる 去 一るより 三のまて 去り 秋之

苧 雑之 志げの葉 一洗ひらくと 苧の葉 採 雑之 寄りの葉之

茨 雑之 苧の葉之 麦飯 麦切 雑之 新夏ハ 其之

ひやまぬか 苧之 苧乃草 雑之 苧の葉 苧の葉 苧の葉

狗の月 狗の舌 雑之 梅葉 梅の葉

梅梁 梅子ホ 雑之 梅子 梅の葉 村雨

雑之 鮎 雑之 鮎 雑之 虫の目 雑之 与 蔞 雑之

物類ハ其ノ
コトハ物類ノ
雑ニ
花
雑ニ
花ハ其ノ
寫
雑ニ
筆
雑ニ

○植物ニヨク
一ヨク
ノ
野
雑ニ

聖ノ
雑ニ
野
雑ニ

宗
雑ニ
草
雑ニ
初
雑ニ

草
雑ニ
草
雑ニ
玉
雑ニ

草
雑ニ
花
雑ニ
花
雑ニ

四

素
雑ニ
實
雑ニ
桃
雑ニ
秋
雑ニ

同
雑ニ
軍
雑ニ
花
雑ニ

怨
雑ニ
月
雑ニ
賊
雑ニ
國
雑ニ

○火
雑ニ
柳
雑ニ

山
雑ニ
娘
雑ニ
病
雑ニ

八
雑ニ
燒
雑ニ

○夜分の 二句去

一白今三句を

ま 生の 菰 雜の

荊の 荻の 葉の

まの 綿 雜の

松の みの りの 雜の

ひひふとん

こどり 待の 宵

秋の 郊の 下の 野の

一候 待よもて廿日 月見也 秋おのれ

け 獸 雜の 獸 狩の 葉の

冬

冬 木 雜の

朔 雜の

新 經 初 録

○冬 二句去

○浮物 二句去

二句去

一白より二句をとる 雲と雨を 二句より 二句をとり

○風 雜の 二句去

一白あり

こ 公の 月 雜の 木 葉の の 沖の

木 葉の の 雲

紙 雜の 中 每 雜の

花の 葉の

氷 菊の 霜

水 豆 腐 雜の

えんの 中の 氷の 葉の

○ 冬 二句去

二白より二句をとり

か 棧 雜の

雪の 葉の

て

○ 冬 二句去

一白より二句をとり

あ 嵐 雜の

初の 葉の

初の 葉の

一 葉 雜の

葉の 葉の

あまの蜜類

春の春の蜜類
森の蜜流るる蜜類

芦 芦の葉類 芦火小類
日維小春

後茶類 あらち原類

正月葉類 後茶類
その部より

秋の葉類 柿
柿の葉類

柿の葉類 柿の葉類
柿の葉類

栗

新の葉類 新の葉類
新の葉類

はく菜 梅あめ 梅井
梅の葉類

山類 桐壺類

相の葉類 相の葉類
相の葉類

吾所の葉類 柚が葉類

柚の葉類 柚の葉類
柚の葉類

香の字漢佐雜之

切

和布雜こつち春荒れ所

あつちの外

○名取二百五

一百の二百五

乃

鴉

雜之

竹鷓雑

一夜の鳥

義虫雑

啼ハ秋

故鳥雑

沙の丁雑

沙丁ハ春

夫如の月雑

細竹雑

志ハ春

芝雑

芝ヤハ春

横雑

春ハ

滋雑

新ら雑

神事雑

紙帳

雜之

鹿の角雑

角ハ春

清水

雜之

一説は水とす

○神紙二百五

一百の二百五

○釋教二百五

一百の二百五

○連懷

三の五

一百の二百五

○人倫二百五

一百の二百五

○食類二百五

一百の二百五

○生類

二の去 一より二の去 もろもろの物の日勤 二の去

○時分 初と期 二の去 夕と文 二の去

○書神 二の去 一より二の去

乙 極難 日賣日さるる 丁魚難 花のさる 丁改難

日待難 火花難 氷像難 むや汗 冷酒

望也版小難 むやけの其むやまの秋 鴨 秋の初 一説春も用

○病神 二の去 一より二の去 ○人の名 二の去 一より二の去

鳥 藻難 むら野も 藻 むら野も 住虫難 日虫の音 一説

紅葉散 一説 二の去 世 一説 二の去 草 一説 二の去 草 一説 二の去

杉 一説 二の去 日苗難 一説 二の去 雀難 雀子 一説 二の去

末廣難 一説 二の去 紫原難 一説 二の去 岳風呂難 一説 二の去 諏訪奈難

一より二の去 七十八夜 ○水 一より二の去 一より二の去

正月	正月	ひつき	冬節月	早緑月
初見月	辛燈月	香新月	いふ月	
二月	きつりき	香満月	小針生月	
梅見月	梅津月	梅つき月	初花月	
三月	やうい	夏見月	さく月	
花見月	花津月	さく月	春惜月	
四月	卯月	卯の尻月	巻津月	
こけり月	いぬ月	おぼ月	湯呑月	

四九

五月	さつき	早苗月	田草月	
なつ月	獲月	吹衣月	月乃月	
六月	みみ月	風待月	松風月	
あけ月	さく月	さく月	涼月	
七月	ゆみ月	文書月	なほ月	
あつ月	七夜月	蘭月	草花月	
八月	くつき	月見月	入来月	
あつ月	紅深月	木立月	燕去月	

九月	芒月	きく月	葉の秋
終る月	紅葉月	栂の枝	色さる月
十月	小と家	小六月	かきか月
終る月	終る月	時雨月	初霜月
十一月	霜月	霜さる月	霜さる月
かぐ月	かづ月	子の月	雪見月
十二月	師走	梅初月	親子月
終る月	終る月	善妙月	春待月

蕉門十哲

四季発句

江戸 寶晋斎 其角

雪乃の月夜はさうさゆーしうの暮る部
 ささる月やさしあもを通る人
 文有月やさしあもを通る人
 おもさる月やさしあもを通る人

京 落柿舎 去來

おとさる月やさしあもを通る人
 おとさる月やさしあもを通る人
 おとさる月やさしあもを通る人
 おとさる月やさしあもを通る人

美濃

蓮二房支考

行喜より屋のぬけりて家接り部
比のまき母りきりりや衣を
牛比のまき母りきりりや衣を
喜のまき母りきりりや衣を

栗津僧 丈艸

おれぬは井くしてゆいからうらうら
おれぬとわく又清まあり其の月
おれぬとわく又清まあり其の月
おれぬとわく又清まあり其の月

大坂 浅生菴野坡

さつしりてりてりてりてりてり
おれぬとわく又清まあり其の月
おれぬとわく又清まあり其の月
おれぬとわく又清まあり其の月

彦根 五七 許六

あ代りや傘さけりてりてりてり
おれぬとわく又清まあり其の月
おれぬとわく又清まあり其の月
おれぬとわく又清まあり其の月

江戸 五雲亭杉風

やうし船よおれりてりてりてり
おれぬとわく又清まあり其の月
おれぬとわく又清まあり其の月
おれぬとわく又清まあり其の月

加賀 翠臺北枝

おれぬとわく又清まあり其の月
おれぬとわく又清まあり其の月
おれぬとわく又清まあり其の月
おれぬとわく又清まあり其の月

各古屋 越知 越人

浦ふししるひ切ぬくき 猫のま
若り時めをあきより のいり
雨の月をささるる 落り
り 燈の輝けをささるる 雪のりれ

江戸 雪中菴嵐聖

梅一輪 一りんちよのあさるる
角かとり 並みのや 秋のるる
蒲ふきき 落り 染あや 東山

俳諧曲尺尾

和室他格書目録

地人定心を清板

俳諧小法ち

四季の法を以て 和室の法を以て
百教の法を以て 和室の法を以て

周 まがりがり

和室の法を以て 和室の法を以て
いふなりいふなり 和室の法を以て

周 四季歌類

四季を以て 和室の法を以て
和室の法を以て 和室の法を以て

淡く波句集 すしなな 一冊

日 文集 信田 三冊

同 あらうの庵 美佐 全一冊

同 ... 全一冊

同 ... 全一冊

同 ... 全一冊

同 ... 全一冊

同 ... 全一冊

俳諧浪花風流 ... 一冊

えせ波句教句集 ... 二冊

名類林抄 ... 五冊

俳諧五元集 ... 四冊

同 續五元集 ... 四冊

其の南報法集

其書を以て法集人の法に因りて
の法を以て其書の法に因りて

二冊

其の南報法集

其書を以て法集人の法に因りて
の法を以て其書の法に因りて

二冊

新一家の法集

同是書に法集人の法に因りて
の法を以て其書の法に因りて

俳諧初心式

此書の法に因りて法集人の法に因りて
の法を以て其書の法に因りて

一冊

法歌乃の法集

法集人の法に因りて

一冊

月一法問答

此書の法に因りて法集人の法に因りて

一冊

俳諧一法集

此書の法に因りて法集人の法に因りて

五冊

俳諧名歌

此書の法に因りて法集人の法に因りて

一冊

多岐の法集

此書の法に因りて法集人の法に因りて

一冊

新一家の法集

同是書に法集人の法に因りて
の法を以て其書の法に因りて

一冊

相火補

此書の法に因りて

二冊

連二坊支考發句集

此書の法に因りて法集人の法に因りて

二冊

西行一代記

平賀新宮山面の武士丹次とて
出家し法名とてうろたひ美徳のを
又書くは後のたてしに別とて

一冊

繪本才女考

古今東西の才女考一初巻
古今東西の才女考二初巻

一冊

茶搦り之

茶搦り之
茶搦り之

一冊

山名風式

山名風式
山名風式

一冊

瓢水發句集

瓢水發句集
瓢水發句集

南北新話

南北新話
南北新話

俳諧深川集

俳諧深川集
俳諧深川集

俳諧語句注解抄

俳諧語句注解抄
俳諧語句注解抄

俳諧新之文

俳諧新之文
俳諧新之文

頭阿日發句

頭阿日發句
頭阿日發句

芭蕉翁反古文

二冊 芭蕉翁の反古文
芭蕉翁の反古文
芭蕉翁の反古文
芭蕉翁の反古文

俳諧八重垣

白梅 野水著

俳諧八重垣の反古文
俳諧八重垣の反古文
俳諧八重垣の反古文
俳諧八重垣の反古文

夏のとと道

夏のとと道の反古文
夏のとと道の反古文
夏のとと道の反古文
夏のとと道の反古文

やが抄

やが抄の反古文
やが抄の反古文
やが抄の反古文
やが抄の反古文

魚問賢経

魚問賢経の反古文
魚問賢経の反古文
魚問賢経の反古文
魚問賢経の反古文

日六窓抄

日六窓抄の反古文
日六窓抄の反古文
日六窓抄の反古文
日六窓抄の反古文

和歌初学抄

和歌初学抄の反古文
和歌初学抄の反古文
和歌初学抄の反古文
和歌初学抄の反古文

勝地百盆

勝地百盆の反古文
勝地百盆の反古文
勝地百盆の反古文
勝地百盆の反古文

高賣修東

高賣修東の反古文
高賣修東の反古文
高賣修東の反古文
高賣修東の反古文

万病回春

万病回春の反古文
万病回春の反古文
万病回春の反古文
万病回春の反古文

松良七初集

松良七初集の反古文
松良七初集の反古文
松良七初集の反古文
松良七初集の反古文

平江詩集白卷二冊

雅文消息 一冊

貞徳及梅子の

約集

...

俳諧四季類題いりはり

黄葉集并六句集

批証

同三頁文庫

同百家句選

同新深川集

季寄桐火桶

...

...

...

...

...

中堅... 俳諧四季類題いりはり

宗山... 黄葉集并六句集

升六宗山... 批証

升六宗山... 同三頁文庫

升六宗山... 同百家句選

升六宗山... 同新深川集

升六宗山... 季寄桐火桶

花屋菴校

芭蕉袖草紙

小本全二冊

翁一世のるれおこころのいふことおゆゆの
やうきをひかこのまゝに死せしむるつれと名
ゆきつれのとまゝに下りし二柳の後の名を
かゝるつれとておまゝに初をいふやうに
おゆゆのまゝに死せしむるつれと名

奇淵七部集

花を菴字由西心り所の世はるけい合を
おのつれと名

依洲四部栗

山吹集ちやと根合障り池五部
おの集四冊と合し二冊と名

同四季文集

夏水 葵太 樽良 岐嘉 三國史 二柳より高時
花を名家の序校 柳文はしとまと集り 功を
おのつれと名 併眉著 二冊

同季寄扇

扇行のよき年の中はつれとて四季を
おのつれと名

同浪弄らう二扁

なつ月次校と名 集四冊と名
おのつれと名 二冊 影板

